

砂防えん堤探検隊 ～ 地元小学生を対象に開催 ～

砂防災害課

国土交通省では、昭和58年より毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。

毎年、国土交通省岩手河川国道事務所、岩手県、滝沢市及び雫石町では、土砂災害防止月間の一環として「砂防えん堤探検隊」を開催しており、次代を担う小学生が、八幡平山系における火山災害と土砂災害、地域の安全を支える砂防施設や災害から自らの身を守ることの重要性等について学習しています。

今年度の砂防えん堤探検隊は、4回開催することとしており、6月10日（水）に、滝沢東小学校4年生の児童51人が先陣として出発しました。八幡平市「イーハトーブ火山局」で岩手山の噴火の歴史を学んだ後、岩手県立大学の伊藤英之教授によるコーラ噴火実験を体験しました。次に場所を移動し、焼走り溶岩流、小水無沢第1砂防えん堤と松川流路工を見学し、子供たちは真剣に砂防施設の重要性について学んだ様子でした。最後に主催者から児童の代表に修了証を授与し、無事に終了しました。

八幡平山系の砂防えん堤探検隊の様子



噴火実験に皆驚きです



職員の説明を真剣に聞く児童



修了証が授与されました



記念写真をパチリ！